

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム日和

目標達成計画

作成日: 令和 7年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12 13	職員が離職しないためには何が必要か？価値観の創出。	『指示されて動く』→『自身で考え判断する』→『体を使う』→『頭と心を使う』へシフトチェンジしていく。これを職員一人一人が意識して従事する。	新たにやりたい事・やれる事を探して、ミーティングで共有して実践していく。来客者や、ボランティアの訪問時には、積極的に対応し、接遇のスキルアップを志す。自由な発想を出し合い、認め、褒め合える職場づくりを目指す。	12ヶ月
2	21 23 24	新入居者が続く中で、今まで同様の平穏な環境維持が必要。	新入居者が続いており、その方々が早く日和の生活に馴染める。日和が居心地の良い第二の我が家だと感じてもらえるように支援する。	その方の言動や、様子を観察する。関係性ができるまでは、スポンジのごとく言動を受け止めていく。働いている職員も楽しいと思えることを、利用者と一緒に探していく。	12ヶ月
3	40 41	食事中の会話が少なく、テレビを見ながら個食になっている現状がある。	食べながら、おしゃべりも楽しめる、和気あいあいとした食いセッションの要素を含めた時間に変えていく。	各テーブルに、必ず職員が1人は入るようにする。食べる様子を観察しつつ、メニューのことを話題にしたり、声掛けしながら一緒に食事を楽しむことを意識する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。